

ボランティア、支援物資が続々

4月に入り、全国各地からボランティアの方や、心のこもった支援物資が続々と届いています。

いま支援センターでは、ボランティアの力を借りて、仮設住宅や自宅避難している方を訪問し、物資を渡して要望などを聞き取り活動を行っています。

「おコメたすかる」「液状化で住みつづけられるか不安」など切実な声が寄せられています。

広島9条の会のみなさんからの支援物資と一緒に届いたタペストリー



仮設での生活も始まり

また

支援物資が必要です

ご支援よろしくお願ひします。

◇必需食料品

おコメ(23年産、3~5kgに小分けしたもの)、日持ちする根菜類(玉ねぎ、人参、じゃがいも)

◇ビタミン不足対策品

常温保存できる野菜ジュース、フルーツジュース

◇日常生活物資

レトルト食品、缶詰、菓子類、ラップ、トイレトペーパー、ウエットティッシュなどの家庭用品

◇その他

成人用おむつ、女性用肌着(新品に限る)

※水道の回復が進み「水」の需要は少しずつ減ってきています。

珠洲市出身の大柳武彦さんは、故郷の惨状に居ても立ってもいられず、「練馬九条の会」の仲間と4人で能登にかけつけ、4日間にわたって被災者訪問などのボランティア活動を行っています。

「ニュースで報道されない地域でも、被害が大きい場所がある。3か月たっても被災者がたいへんな思いをしていることに胸が痛む」と話していました。

